



2020年7月29日

各 位

会社名 大日本塗料株式会社
代表者名 代表取締役社長 里 隆幸
(コード番号4611 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員 永野 達彦
管 理 本 部 長
(TEL 06-6266-3100)

業績予想及び配当予想の開示に関するお知らせ

当社は、2020年5月12日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりました2021年3月期の業績予想及び配当予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想

(1) 2021年3月期第2四半期（累計）連結業績予想（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	—	—	—	—	—
今回修正予想（B）	30,500	500	650	350	12.37
増減額（B－A）	—	—	—	—	
増減率（％）	—	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2020年3月期第2四半期）	36,841	2,752	2,872	1,776	62.34

(2) 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	63,300	1,500	1,700	1,000	35.33
増減額 (B - A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	72,709	5,547	5,786	3,662	128.96

(3) 業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による事業活動への影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、日本における緊急事態宣言の解除等により経済活動再開の動きが見え始めたことから、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

2020年度の上半期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、国内塗料事業及び海外塗料事業では、工業用分野を中心に大きく需要が落ち込み、また、照明機器事業においては商業施設向けの需要が大きく落ち込み、連結売上高は前年同期を2割近く下回る見通しです。下半期は経済活動の再開が一定程度進み、各セグメントにおける需要も緩やかに回復するものと想定しております。この結果、通期売上高は前期を1割強程度下回る見通しです。

営業利益及び経常利益につきましては、原材料価格が一定程度下落すると見込んでおり、加えて従来以上に経費の低減に努めてまいりますが、売上減少の影響が大きく、前期を大きく下回る見通しです。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の要因に加え、国内塗料事業及び海外塗料事業における事業構造改善費用を特別損失として合わせて約240百万円計上すること等により、前期を大きく下回る見通しです。

2. 配当予想

(1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 (2020年5月12日発表)	—	—	—
今回修正予想	0.00	25.00	25.00
前期実績 (2020年3月期)	0.00	25.00	25.00

(2) 配当予想の理由

当社は、株主の皆様に対する配当額の決定を経営上の重要課題の一つと位置づけており、企業体質の強化、財務内容の健全性維持に努めつつ、業績に応じた配当を安定的に継続実施することを基本方針としております。

この方針のもと、当期の業績予想を踏まえた結果、期末配当予想は前期実績と同額の1株当たり25円といたします。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期、海外及び国内の景気動向、為替動向など様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。今後、今期の業績見通しに関し開示すべき重要な事象等が生じた場合には速やかに公表いたします。

以 上